

レジメン名	食道がんFP療法 (5-FU + CDDP)	催吐リスク	高度
-------	------------------------	-------	----

適応	切除不能な進行・再発の 食道がん
----	------------------

投与期間	4週間毎を1コースとして、不応になるまで継続
------	------------------------

	薬品名	投与量	投与ルート	投与時間	備考
	輸液1500mL/日 (※1)		点滴	点滴：1日	前日
①	グラニセトロン点滴静注バッグ3mg (※2) +デカドロン注6.6mg 1~2V		点滴	30分	day1
②	シスプラチン (CDDP) + 生食 ⇒全量500mL	80mg/m ²	点滴	2時間	day1
③	フルオロウラシル注 + 生食500mL	800mg/m ²	点滴	24時間	day1~5
	輸液2000mL/日 +フロセミド注1A×2回		点滴+静注	点滴：1日 静注：朝・夕	day1
	輸液1500mL/日 +フロセミド注1A×2回		点滴+静注	点滴：1日 静注：朝・夕	day2
	輸液1000mL/日 +フロセミド注1A×1回		点滴+静注	点滴：1日 静注：夕	day3

※1 輸液の種類は、生食、リナセートF、等

※2 制吐剤はアロキシ静注0.75mgバッグへ代えても可

投与スケジュール

薬品名	Day	前日	1	2	3	4	5	6	...	21	22	...	27	28
シスプラチン			↓											
フルオロウラシル			↓	↓	↓	↓	↓							
輸液+フロセミド		↓	↓	↓	↓									

前日

輸液 1500mL/日 + フロセミド注1A iv 1日1回(夕)

Day1

輸液 2000mL/日 + フロセミド注1A iv 1日2回(朝・夕)

①グラニセトロン+デカドロン (30分)

② シスプラチン 2時間

③フルオロウラシル注 24時間

Day2

輸液 1500mL/日 + フロセミド注1A iv 1日2回(朝・夕)

③フルオロウラシル注 24時間

Day3

輸液 1000mL/日 + フロセミド注1A iv 1日1回(夕)

③フルオロウラシル注 24時間

Day4~5

③フルオロウラシル注 24時間

減量規定及び中止基準

Grade4以上の有害事象、Grade3以上の血液毒性出現時、80%dose または中止